

国民平和行進 和歌山→広島コース 5月31日(金) 古座川町役場前広場 出発集会 17:15~



なくそう!
核兵器
No Nukes!



右から西前町長、洞議員、
増田東牟婁原水協事務局長



—核兵器禁止条約の早期発効を—

5月31日金曜日、曇りです。集会前に30分程、西前啓市町長との懇談ができました。「原爆写真展」開催と平和行進の協賛金のお願いをしますと、町長から「子どもたちに伝えていくため公民館などで展示できるように検討する」と応えて頂きました。集会では地元代表として、洞佳和議員が「地域のもめ事は話し合いで解決する。国と国との間も、紛争や戦争、核兵器で脅して解決するのではなく話し合いで平和的に解決すべき」と挨拶。西前町長は「被爆者の方は病気で苦しみながら世界に訴えてきた。平均の年齢は80歳を超えている。核兵器の無くすことは、被爆国日本国民の使命である」と挨拶されました。そして、町長から洞議員がペナントを受け取ります。県実行委員会事務局は、「今日まで古座川町長をはじめ8名の自治体首長さんが核兵器の廃絶について挨拶をいただいた」事を紹介。わかやま市民生協通し行進者の栗栖さんが「古座川に生協の企業の森があります」と紹介して決意表明。最後、集会宣言をして、「青い空は」を合唱。平和行進です。庁舎内の平和行進へ西前町長、大屋一成議長が横断幕を持ち歩いて頂きました。集会には、町職員12名が参加。集会・行進参加者は22人。ヒバクシャ「国際署名」が2筆。6月3日、月曜日太地町の平和行進です。